

平成 13 年度 コンクリート委員会 第 7 回常任委員会 議事録

日時：平成 14 年 1 月 29 日（火）15：00～17：30

場所：弘済会館 4 階会議室

出席者：魚本委員長，睦好幹事長，宇治，島，中村，井上の各幹事，石橋，上田，梅原，大津，岡沢，河野，小島，坂井，堺，佐藤（代理：河合），竹田，武若，富田，福手，松岡，丸山，宮本，樺山，山崎，六郷，渡辺の各委員

配布資料：

7-0 平成 13 年度コンクリート委員会第 7 回常任委員会議事次第

7-1 平成 13 年度コンクリート委員会第 6 回常任委員会議事録（案）

7-2 2002 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会のご案内

7-3 コンクリート標準示方書懇談会議事録（案）

7-4 平成 13 年度コンクリート委員会会計状況（平成 14 年 1 月 28 日現在）

7-5 エコセメントの JIS 化に関する件

7-6 コンクリート標準示方書英訳小委員会委員（案）

7-7-1 第 3 種委員会設置提案書（非破壊検査 - 弾性波法の理論的な統合による実用技術研究小委員会）

7-7-2 第 3 種委員会「コンクリートの環境負荷評価研究小委員会」（第 2 期）の設置願

7-8 耐久性データベースフォーマット作成小委員会報告書案

7-9 全国大会・研究討論会の提案 メインテナンス工学連合小委員会

回覧資料：Performance and assessment requirements for acceptance of national standards on structural concrete

議事：

1．委員長挨拶

魚本委員長から，今回が本年度最後の委員会となること，次年度の課題等について討議をお願いしたいことなどを含めた挨拶があった．

2．第 6 回常任委員会議事録（案）の確認

資料 7-1 の議事録（案）のうち，5.(2)下から 4 行「結論として... 意見があった .」の記述について，堺委員より前回の常任委員会では結論が出たわけではないのではないかと指摘があり，「結論として...」以降の記述を「コンクリート委員会では当該指針を出さないこと，指針のフォローを継続的に実施していく方法を検討すべきであるとの意見があった .」に修正することで承認された．

3．報告事項

(1) 示方書関連

1) 耐震性能照査編出版延期について

魚本委員長よりコンクリート標準示方書耐震性能照査編の出版延期についてその経緯が説明された．荷重に関する合意形成ができておらず，次年度に十分な議論をした上で出版した方がよいと考え，出版延期の判断を下したとのことであった．したがって，講習会では現在までの経緯や

基本的な考え方を説明していただくことになるとのことであった。

2) 講習会プログラム・示方書の価格について

資料 7-2 により、睦好幹事長より講習会のプログラムが紹介された。その際、魚本委員長より東京会場の開会挨拶（予定：岡村示方書委員会委員長）と閉会挨拶（予定：魚本委員長）が入れ替わる可能性が大きいことが報告された。

また、睦好幹事長より、示方書の価格は事務局出版事業課と相談の上、以下のとおりになる予定との報告がなされた。

・ 構造性能照査編	定価 5,040 円	会員価格 4,540 円
・ 施工編	定価 5,460 円	会員価格 4,920 円
・ 規準編	定価 6,510 円	会員価格 5,860 円
・ 舗装編	定価 5,040 円	会員価格 4,540 円
・ ダムコンクリート編	定価 3,780 円	会員価格 3,410 円
・ 改訂資料	定価 3,150 円	会員価格 2,840 円
合計	定価 28,980 円	会員価格 26,110 円

なお、1 月 28 日現在の申込者数は、東京 341 名、大阪 120 名であることが報告された。これについて、魚本委員長より、常任委員会委員の方には示方書は無料で配布（講習会に招待）するが、できるだけ多くの方が講習会に参加されるよう呼びかけていただきたい旨要望がなされた。

3) 示方書懇談会報告

睦好幹事長より、2002 年度改訂版で積み残した部分や問題点、次年度以降の方向性、示方書の英訳と英文のタイトルについて等、1 月 16 日に開催された示方書懇談会で議論された主な内容が資料 7-3 に基づき報告された。

委員からの質問に対し、示方書委員会の新しいメンバーでの活動は平成 15 年度から開始し、各編の枠組みや構成は現在の部会の主査・幹事等を含めた懇談会の中で検討していくことを考えているとの回答が魚本委員長よりなされた。また、示方書の英文名について議論がなされ、standard specification の末尾に「s」をつけるかどうかについては幹事団が、また、paving という用語については堺主査が調査の上 1 月 30 日までに決定することになった。さらに耐震性能照査編の seismic か aseismic かという点については、丸山主査が関係方面に問い合わせ決定することとなった。なお、懇談会議事録（案）中の「決定した」という表現は「合意した」という表現に改めることで承認された。

(2) 予算執行状況

資料 7-4 により、睦好幹事長から 1 月 28 日末時点での予算執行状況の報告があった。

(3) エコセメントの JIS 化について

資料 7-5 により、河野委員よりエコセメントの JIS 化についての活動について報告がなされた。現在、指針のない状態で JIS 化することについての是非や微量成分の溶出についての問題が議論されており、土木学会としては示方書に取り入れる際に検討を要する事項が生じるであろうとのことであった。

4. 審議事項

(1) 示方書の英訳委員会の発足について

魚本委員長より、示方書の英訳委員会の発足について、資料 7-6 に基づきその経緯や委員構成、

進め方等について説明がなされた。委員長を上田委員にお願いしたいこと、調整幹事として Misra 氏に入っていただくこと、委員には各改訂部会の主査・幹事の方には必ず入ってもらうこと、費用としては 500 万円程度は使用可能であること、翻訳作業は外注せずに委員会メンバーで行うこと、翻訳は本文のみあるいは本文と解説の重要部分のみを行うこと等が提案され、委員長および委員について承認された。なお、幹事長の人選は上田委員長に一任することとなり、また、ISO 関連委員会や吉田賞選考委員会に補助金を応募することとなった。

(2) 第 3 種委員会設立について

大津委員より、資料 7-7-1 に基づき「非破壊検査 - 弾性波法の理論的な統合による実用技術研究小委員会」設立の提案がなされ、審議の結果、委員会名を「弾性波法の非破壊検査研究小委員会」とすることで承認された。なお、魚本委員長より、試験方法に関する成果を上の委員会等へ上げて順次規準化していくことを考えて欲しい旨の要望が出された。

河合氏より、資料 7-7-2 に基づき「コンクリートの環境負荷評価研究小委員会」について、第 1 期目の活動報告と第 2 期委員会設置についての提案がなされ、審議の上承認された。

(3) コンクリート教育研究小委員会の再活動について

睦好幹事長より「コンクリート教育研究小委員会」の再活動に関して説明がなされた。幹事団としては現時点では JABEE に関連したカリキュラム関係の問題を素案として持っているが、できるだけ多くの方々から委員会の目的・目標・活動内容を提案していただきたいとの要望が出された。議論の結果、2 月 28 日(木)までに意見を睦好幹事長もしくは事務局宛送っていただき、幹事団で原案を考えた上で 4 月の常任委員会に諮ることとなった。

(4) 耐久性データベースフォーマット作成委員会報告書案について

河野委員より、資料 7-8 を用いて内容の概略説明がなされた。報告書が出版された後、この秋を目処にデータベースと関連したシンポジウムを開催する予定であることが併せて報告された。報告書案の内容について意見がある場合は、2 月 28 日(木)までに事務局宛送付していただくこととなった。また、ライブラリーとして出版する際に題名をきちんと考えて欲しいという要望が出された。なお、事後承諾となるが、委員の交代（庄谷委員→阿波委員、鳥居委員→久保委員）を認めていただきたいとの要望が出され、審議の結果これを承認した。

(5) 全国大会研究討論会の議題について

睦好幹事長より、本年度の全国大会におけるコンクリート委員会担当の研究討論会について、その企画案を 2 月 28 日(木)までに、睦好幹事長もしくは事務局宛に提出していただきたい旨の要望が出された。また、資料 7-9 のメンテナンス連合小委員会からの企画（案）が説明され、了承された。

(6) ダムコンクリート編の協力委員の追加について

六郷委員より、ダムコンクリート編の協力委員として長原寛氏（国土交通省）を示方書に追加記載したい旨の提案があり、審議の結果承認された。

5. その他

(1) 示方書委員会の各部会は 3 月で解散なのかという質問があり、魚本委員長より、改訂小委員会のメンバーは後 1 年は変更なしと考えていること、14 年度は主査・幹事を含めた懇談会形式で検討していきたいこと、進め方については 4 月以降に改めて提案したいという回答がなされた。

(2) 井上幹事より日本学術会議材料研究連合講演会の日程（9 月 18, 19 日）の紹介があった。ま

た，その中で土木系でのオーガナイズドセッションを希望する方は，井上幹事もしくは日本材料学会に2月末までに連絡していただきたい旨の要望がなされた．

(3) 睦好幹事長より「図解コンクリート事典」の紹介がなされた．

6．次回常任委員会（平成14年度第1回常任委員会）

日時：2002年4月16日（火）14:00～17:00

場所：未定

以上